

1 調査経過

本調査は、中金堂院の東面回廊・南面回廊と回廊内庭部を含むL字型の調査区を設定し、981㎡について調査をおこなった。

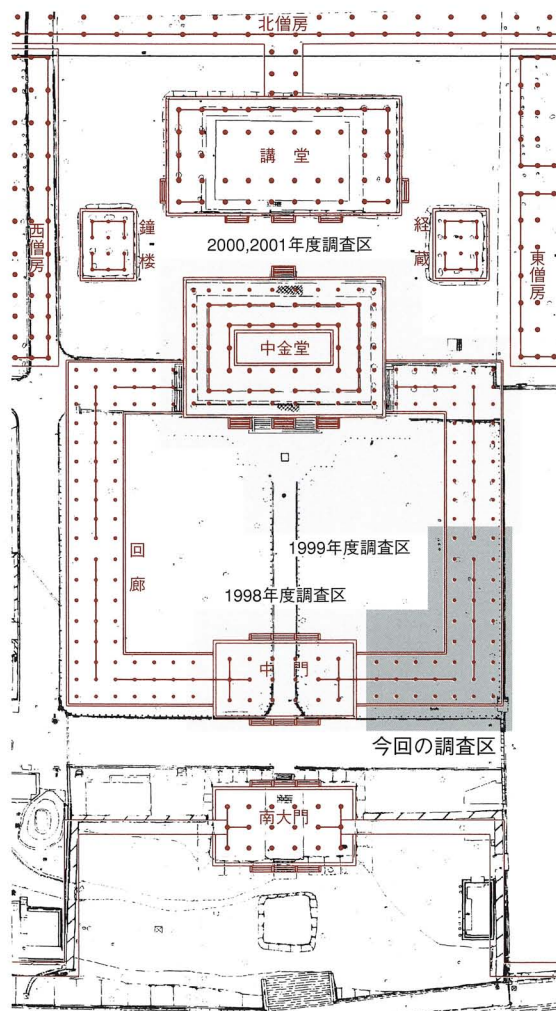
興福寺中金堂院では、1998年度に中門全面と、中門の東西に取り付く南面回廊の一部を含む841.5㎡、1999年度に東面回廊の北半と中金堂前庭部を含む1485㎡、2000・2001年度に中金堂とその東西に取り付く北面回廊の一部を含む1836㎡を発掘調査した。これまでの調査では、各建物の規模を明らかにし、基壇外装やその外周の遺構には数度の改修があることを確認した。

本調査では、中金堂院回廊東南部の様相を明らかにすることが課題となった。絵画資料や指図に描かれる東西の回廊に開く門の検出や、門の南北で異なると予想される桁行方向の柱間寸法の解明も期待された。今年度は、興福寺第1期境内整備事業にともなう中金堂院発掘調査の第5年度目にあたり、今回で中金堂、中門と回廊東半の調査が完了したことになる。

発掘調査は2002年7月1日から開始し、11月1日に終了した。今回の調査では、東面回廊の南半と南面回廊東半の基壇や外周の雨落溝、石敷などを検出した。東面回廊基壇の西辺で回廊に取り付く階段を確認し、その位置から回廊に開く門の位置を確定した。回廊の内庭部では、火災時に生じた廃棄物処理のための土坑や近世の建物遺構などを検出した。

第1表 調査経過

7月1日	現場設営、地区杭設定完了。東から発掘開始。
7月4日	礎石抜取穴の検出開始。
7月5日	東面回廊棟通りで凝灰岩製地覆石SX7501を検出。
7月15日	仮設建物SB7536の西側礎石列を検出。
7月18日	内庭部で建物SB8406を検出。
8月5日	南面回廊南側の溝SD8385の検出状況を写真撮影。
8月6日	東面回廊の礎石抜取穴掘り下げ（～7日）。
8月8日	東面回廊西側の基壇外装、雨落溝、階段を検出。
8月13日	地上写真撮影。
8月21日	階段南辺地覆石の抜取を検出。
8月22日	内庭部の廃棄土坑を掘り下げ。階段遺構を実測。
8月29日	記者発表。
8月31日	現地説明会。見学者約560人。
9月3日	クレーンによる調査区全景の写真撮影。
9月4日	地上写真撮影。
9月5日	平面実測開始（～9月24日）。
9月26日	断割（断面観察）開始。
9月30日	記録ビデオの収録。
10月2日	内庭部で瓦敷地業SX8403を検出。
10月7日	東面回廊基壇上で掘立柱建物SB8365を検出。
10月11日	遺構の地上写真撮影。
10月25日	東南隅の礎石断割。
11月1日	調査終了。



第1図 発掘調査区位置図（1：1500）